

# セアカゴケグモにご注意ください

高浜市内でセアカゴケグモの生息が確認され、分布の拡大が心配されております。特に最近では港小学校で度々発見されている状況が続いています。愛知県の月別発見件数は6月から増え始め、8～10月が最も多く見つかっています。ただし、冬でも件数は少ないものの発見されていますので、年間を通して注意が必要です。セアカゴケグモは、攻撃性はありませんが触ると咬まれることがあります。側溝の内部や、その網蓋のすき間等を好みますので注意してください。

## 〈セアカゴケグモの特徴〉

成体の雌は体長（脚を含まない。）が約1cm、形態的には、脚が長く、腹部が球形で大きいです。光沢のある黒色又は暗褐色を基調とし、腹部の背面に赤色の“砂時計”様、又は“鼓（つづみ）”様の模様があります。

成体の雄は体長が約3～5mm、腹部は白色を基調として2本の黒い縦縞があります。

セアカゴケグモは、巣を作り、繁殖するために、日当たりがよく暖かい場所、昆虫などのエサが豊富な場所で、適当な隙間がある場所を好みます。生息場所は、側溝の内部や、その網蓋のすき間、フェンスの基部、花壇のブロックの内部、墓石のすき間、自動販売機やエアコン室外機などの機器と壁とのすき間などです。

そのため、側溝の掃除をするとき、庭の手入れをするとき、植木鉢やプランタを移動させるとき、庭に置かれた履物を履くときなどは注意が必要です。

習性は、基本的におとなしく、攻撃的ではありません。脅かされると死んだふりをして動かなくなることがあります。ただし、素手でさわったり、捕まえたりしようとすると、咬まれることがあります。

さらに詳しい情報については、愛知県衛生研究所のページ「毒グモ（セアカゴケグモ）について」をご覧ください。



セアカゴケグモの写真  
《愛知県 HP より》

## 〈咬まれた時は〉

咬まれた時は、針で刺されたような痛みを感じ、その後、咬まれた場所が腫れたり、熱く感じたりします。

症状のピークは3～4時間で、数時間から数日で軽快しますが、時に脱力感、筋肉痛、頭痛などの全身症状が現れることがありますので、医療機関で治療を受けることが必要です。

## 〈クモに咬まれないために〉

セアカゴケグモを見つけても、素手でさわったり、捕まえたりしないでください。屋外での作業には軍手などの手袋を使用しましょう。クモの生息しそうな場所は、こまめに清掃したりして、クモが住みにくい環境を作りましょう。セアカゴケグモを見つけても、素手で触ったり、捕まえたりせずに市販の殺虫剤（ピレスロイド系）を直接吹きかけるか、靴で踏みつぶして駆除してください。

## 〈お問い合わせ・ご相談〉

セアカゴケグモに関するご相談は、最寄りの保健所で受け付けております。また、高浜市内でセアカゴケグモを駆除した場合は、駆除したセアカゴケグモや卵の数を市役所市民生活グループ（0566-52-1111）までご連絡ください。